

令和4年度(2022年度)厚生常任委員会管外視察の概要

- 1 視察日 令和4年(2022年)11月8日(火)～10日(木)
- 2 視察者 厚生常任委員会(7名)
岩本浩治(委員長)、南部隼平(副委員長)、藤川隆夫、
内野幸喜、前田憲秀、松村秀逸、山本伸裕

3 視察の概要

(1)さんさん山城

さんさん山城は、地域に根差した就労継続支援B型事業所として、農業、食品・菓子加工、カフェ運営、縫製・工作、販売などの様々な作業の実施によって、聴覚障害者などの就労支援を行っている。

今回の視察では、同事業所の特色である農福連携の取組について説明を受け、意見交換を行った後、敷地内を見学した。

同事業所からは、自分たちで創造して販売しているのが特徴で、生産、加工から販売まで行う6次産業に取り組んでいる、また、地域の皆さんから支持され愛される事業所になることを目指しており、障害者でもできる仕事ということではなく、当事業所だからこそできる仕事としてこれからも取り組んでいきたいとの説明があった。



(2)豊中市社会福祉協議会

豊中市社会福祉協議会は、地域共生社会の実現を目指し、豊中市との協働による住民主体の生活支援事業のほか、校区単位で設置するコミュニティソーシャルワーカーのサポートによる様々な福祉問題への対応などを行っている。

今回の視察では、同協議会が行っている重層的支援体制整備などの取組について説明を受け、意見交換を行った。

同協議会からは、住民の問題を断らないで丸ごと受け止めるというコミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域の中で見つかった様々な困りごとをつないでもらった結果、制度のはざまにある問題の解決に向けての検討が行われ、この工程が「断らない相談」や「生活支援コーディネーター」の取組、重層的支援体制につながっていったとの説明があった。



(3) 北摂杉の子会

北摂杉の子会は、高槻市内を中心に、知的障害や発達障害のある子供から大人までを対象として生活支援や就労支援を行う17の施設や事業所を運営している。

今回の視察では、同会が幅広い年代の障害者に対して提供している支援の取組について説明を受け、意見交換を行った。

同法人からは、大阪府の6つの福祉圏域に整備されている療育拠点の1つを運営する一方で、他の圏域の拠点の運営サポートも行っており、地域全体の専門性向上についての役割も果たしてきた、また、今年度からは、教育委員会と連携して小中学校等のサポートを行う取組を始めているとの説明があった。



(4) 岡山県精神科医療センター

岡山県精神科医療センターは、岡山県内における精神科医療の拠点として、高度な判断や対応を要する患者に対して充実したチーム医療による良質で高度の医療を提供している。

今回の視察では、同センターの概要や各部門の取組について説明を受け、児童・思春期入院棟及びデイケア・通所リハビリテーションなどを見学した後、意見交換を行った。

同センターからは、「全ての基礎になる精神科救急」ということで、県内全体の精神科救急入院の8割、措置入院の6割、児童一時保護委託入院の10割を当院で受け入れている、また、リハビリ部門を充実し、院内外の資源を有効活用できるようネットワークを構築することで、対応が非常に困難な患者も含めて「必ず地域移行する医療」を実現しているとの説明があった。

